

浅川河川整備計画原案に対する公聴会が終了

——石坂ちほ県議団長が公述人として発言——

浅川（長野市）の河川整備計画原案に対する住民公聴会は、5月18日から3日間開かれ、計94人が発言しました。この内、50人が原案に賛成、約40人は反対の立場でした。

石坂ちほ県議の発言（19日午後）の要旨を紹介します。（全文は県議団ホームページをご覧ください）

最初に、穴あきダムであっても、浅川へのダム建設は安全性が不安であるとして、公聴会前日に現地視察を行ってきた奈良県川上村の大滝ダム（国直轄）の現状を述べました。同ダムは3500億円の巨額を費やし2003年3月に完成。試験たん水を始めて1ヵ月後の4月に、ダムサイト上流4キロ地点の白屋地区で地割れや亀裂が発生し、50戸全戸が移転することになりました。同地区の地滑り対策に約250億、新たに2ヶ所の安全対策に約160億円もかけるといように次から次に際限もなく税金を使い続けることになっています。まして地すべり地帯である浅川でこのようなことが繰り返されないためにもダム建設をはずすよう提案しました。この他、流量調査の期間を長く実施し、流域住民の命と安全に責任を負える検討をすること。ダム建設に賛成、反対の人も一致できる下流部への遊水地の設置、千曲川の抜本的な改修も提案しました。

5月21日付の信濃毎日新聞でも、「公聴会を通じ、賛否を超えて原案の課題が示される場面もあった。遊水地の設置もその一つだ。下流域の住民も『内水氾濫はダムだけでは防げない。遊水地が必要だ』と指摘。県が、具体的な設置場所の見通しが立たない一などとして、原案に遊水地設置を盛り込んでいない点に疑問を投げかけた。」と報道しています。

○6月2日（日）「浅川にダムはいらない県民集会」にご参加下さい。

大滝ダム、益田川ダム（全国唯一の穴あきダム）のくわしい報告をします。

報告集会 午後1時30分～ 長野市民会館集会室（現地調査 午前9時・建設予定地集合）

「エムウェーブ」と「スパイラル」が 「ナショナルトレーニングセンター」に ～井上さとし参議院議員からの速報～

長野冬季オリンピック時に建設され、長野市が維持管理に多額の負担をしてきた「エムウェーブ」と「スパイラル」について、文部科学省が「ナショナルトレーニングセンター」（2010年のバンクーバー冬季五輪に向けて、メダル獲得の可能性の高い競技等で、合同練習を行う国内拠点）に指定することを決定したとの第一報が5月18日午後、日本共産党の井上さとし参議院議員から長野県議団に入りました。

年間の委託費はエムウェーブが1億5千万円程度、スパイラルが5千万円程度になるとのことです。

皆さんと力をあわせて続けてきた運動が実りました。また、県内では軽井沢のカーリング練習場（スカップ軽井沢）も指定になりました。

ご要望をお寄せください

連絡先：日本共産党長野県議団 長野市南長野幅下692-2
TEL 026-237-6266 FAX 026-237-6322

ホームページ <http://www.avis.ne.jp/~up/> E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp